

つなぐ



諫早市立大草小学校  
特別支援教育  
コーディネーターだより  
H30.7.4 No.12  
文責 林田

## ☺ 台風一過 ☺

台風7号が猛烈な雨と風と共に過ぎ去りました。皆様のご家庭では、被害などはなかったでしょうか？学校が臨時休業となった子どもたちは、家の中で1日をどのように過ごしていましたか？テレビ？ゲーム？それとも、担任から出された課題にまじめに取り組んでいたでしょうか？(当然☺)



ところで、昨日の早朝は、サッカーワールドカップの日本対ベルギー戦を観戦された方も多かったと思います。残念な結果に終わりましたが、監督・選手一丸となって力を出し切った姿は、私たちに「感動」の一言で済ませられない多くのものを与えてくれたと思います。

さて、ご存知のように、スポーツにはポジションがあります。サッカーで言うと「フォワード」「ディフェンダー」「キーパー」などです。(細かく言うと選手11人それぞれにポジションがあると思いますが。)



私たちの生活の中にも、スポーツほど厳密ではないかと思いますが、それぞれのポジション(役割)があります。よく「適材適所」という言葉を目にしますが、今の社会の流れの中で目指している「共生社会」は、正にこの「適材適所」を実現しようとするものではないかと思えます。

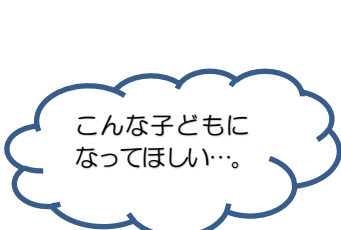
つまり、「自己実現ができる職場・社会」、「障がいのある人も、得意なことを生かして働き、社会参加をすることができる環境」をつくっていかうというものです。

サッカーで、監督が選手の特性のデータを収集し、ポジションや出番を決めていくように、社会の中では、誰かが障がいのある人たちの得意なことを把握し、それを生かせるように伝えていかなければなりません。

その資料となるものの一つに「個別の教育支援計画」があります。これは、支援の必要な子どもに関して、保護者の了解のもと作成し、関係機関と共有したり、進学先の学校へ引き継いだりするものです。

今回は、この「個別の教育支援計画」についてお伝えします。

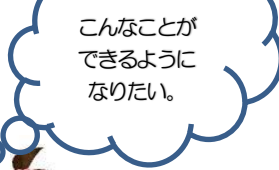
## \* 個別の教育支援計画に記載する内容 \*



### 保護者の願い

- 記録を引き継ぎながら、継続した指導や支援をしていきます。
- 学年や学校が替わっても、指導の流れや子どもの成長がわかります。

得意なことは...



### 子どもの願い

苦手なことは...



### 学校での指導・支援

どんな支援をして、どんな力を伸ばしていけばいいかな...。どんな成長が見られたかな。



### 医療・保健・福祉との連携。

こんな支援(相談)を行った。  
こんな検査・治療を行った。